

シンポジウム 1

「便秘異常症診療ガイドラインの有用性とその課題」

司会 北條麻理子（順天堂大学医学部消化器内科）

伊原 栄吉（九州大学大学院医学研究院病態制御内科学）

便秘異常症診療ガイドライン 2023-慢性便秘症・慢性下痢症発刊されて早1年が経過した。慢性便秘症は、慢性便秘症診療ガイドライン 2017 の改訂版として、新たなエビデンスの追加や診療フローチャートが作成され、実臨床での活用がさらにしやすいものとなっている。一方、慢性下痢症は本邦初の診療ガイドラインである。本セッションでは、慢性便秘症および慢性下痢症に関する演題を広く募集する。様々な視点からの発表や議論を通じて、本ガイドラインの有用性と将来に向けた課題について掘り下げていきたい。